

iPhone 8のWi-Fi用ダイバーシティアンテナの交換

このガイドに従って、iPhone...

作成者: Arthur Shi



はじめに

このガイドに従って、iPhone 8のWi-Fi用ダイバーシティアンテナとフレックスケーブルを交換 してください。これは、接続関連の問題を解決するのに役立ちます。

🖌 ツール:

Anti-Clamp (1) iOpener (1) ハンドル付き吸盤 (1) iFixit開口用ピック(6枚セット) (1) スパッジャー (1) ピンセット (1) P2 ペンタローブドライバー (1) トライポイントY000 ドライバー (1) #000 プラスドライバー (1) 🌣 部品:

iPhone 8 Wi-Fi Diversity Antenna (1) iPhone 8 ディスプレイアセンブリ用接着 剤 (1)

手順1-ペンタローブネジを外します。



- ▲ 作業開始前にiPhoneのバッテ リーを25%以下まで放電してく ださい。充電されたリチウムイオ ンバッテリーは、バッテリーに穴 が空いた場合、引火や爆発の恐れ があります。
- 分解を始める前に、iPhoneの電 源を切ってください。
- iPhone下部底面に留められた3.5
 mmペンタローブネジを2本を取り 外します。
- iPhoneのディスプレイを開口してしまうと、防水用シールが破壊されます。この手順から次に進む前に、交換用シールを準備してください。シールを交換しない場合は、液体侵入にご注意ください。

手順2-ひび割れた部分にテープを貼る



- iPhoneの画面が割れてしまった場合、ガラスの表面上にテープを貼っておくと、それ以上広がることがなく、作業中の怪我を防ぐことができます。
- iPhoneの画面の上に、透明な梱包用テープを重ね合わせます。

▲ 修理の際に飛び散るガラスから目を保護するため、安全メガネを着用してください。

- 次の手順で吸盤がうまく装着しない場合は、強力なテープ(ガムテープなど)を持ち手に 折って、代わりにそれでスクリーンを持ち上げてみてください。

手順3-リバースクランプの使用方法



次の3つの手順では、デバイスの開講作業を簡単にするために開発されたツール、リバースクランプの使い方を紹介します。リバースクランプを使用しない場合は、この3つの手順をスキップして別の方法をご覧ください。

- 青いハンドルをヒンジ側に引くと、リバースクランのアームを解除します。
- iPhoneの左/右側の端に向けてアームをスライドします。
- 吸盤カップをiPhoneの下端付近に装着します。前面と背面に1つずつ取り付けます。
- 吸盤カップ両側をギュッと締め合わせると、標的の場所にしっかりと装着させることができます。



- 青いハンドルを手前に引くと、アームがロックされます。
- ハンドルを時計回りに360度回転させ、カップが両側をストレッチするまで回し続けます。
- 吸盤カップの位置が合っていることを確認してください。装着位置がずれ始めてきたら、吸盤を少し緩めてアームを装着し直してください。



- Heat an iOpenerを温めて、リバースクランプのアームの間にこれを通してください。

 i <u>ヘアドライヤー</u>や <u>ヒートガン</u>もしくはホットプレートでも対応できますが、過剰な熱は ディスプレイや内蔵バッテリーを破損する恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。
- iOpenerを折り曲げて、iPhoneの下側端に当たるようにします。
- 1分ほど待機すると、接着剤が剥がれ始め、デバイスの間に隙間ができます。
- プラスチックベゼルとスクリーンの間の隙間にオープニングピックを差し込みます。スクリーン自体には差し込まないでください。

 - ▲ 一回ごとの作業で1/4以上回さないでください。クランプをまわしたら1分間待ってください。リバースクランプの効果を待ってから、作業を続けてください。
- 次の3つの手順はスキップしてください。

手順6-ディスプレイを温めます。



- 次の3つの手順では、吸盤カップ
 を使ってスクリーンを乖離させる
 方法が学べます。
- iPhoneの下端を加熱すると、
 ディスプレイを固定している接着 剤が柔らかくなり、開きやすくなります。
- ヘアドライヤーを使用するか、 iOpenerを準備し、ディスプレイ 裏側の接着剤を柔らかくするため に、iPhone下部端に約90秒間あ てます。

手順7-ディスプレイを外します。



- ホームボタンのすぐ上にあるフロントパネルの下半分に吸盤を取り付けます。



- 一定の力で吸盤カップを引き上げて、スクリーンとフレームの間にわずかな隙間を作ります。
- 隙間に開口ピックを挿入します。
- ② スクリーンを所定位置に固定する防水性接着剤は非常に強く、最初の隙間を作るにはかなりの力を要します。なかなか隙間ができない場合、さらに熱を加えたり、ピックを挿入できるだけの十分な隙間を作るために画面を上下にゆっくり揺り動かして接着剤を弱めます。



- 開口ピックを左下からiPhoneの音量コントロールボタンとサイレントスイッチの方向にスラ イドさせて、ディスプレイを固定している接着剤を剥がします。
- ディスプレイの左上隅付近で停止します。
- ▲ ディスプレイの上端から後部ケースを引き剥がそうとしないでください。固定しているプラ スチック製のクリップが破損することがあります。

手順10-スクリーンの情報



▲ iPhoneの右側に端に沿って、デ リケートなケーブルが装着されて います。この部分にピックを差し 込まないでください。ケーブルを 破損する恐れがあります。



- iPhoneの右下隅に開口ピックを再度差し込み、角を回ってiPhoneの右上にスライドさせて接着剤を剥がします。
 - ▲ ディスプレイケーブルを傷つける恐れがあるので、ピックを3mm以上差し込まないでください。



- ディスプレイの下端を押さえながら、吸盤カップをゆっくりと引き上げます。
 ① ディスプレイを15°以上持ち上げないでください。ディスプレイが接続されたリボンケーブルを傷つけたり、破損する恐れがあります。
- 吸盤カップの小さな持ち手(ノブ)を緩めて、フロントパネルから取り外します。

手順 13



 ディスプレイ下の開口ピックを左上の角からiPhoneの上端に沿ってスライドさせて、残りの 接着剤を剥がします。



 ディスプレイアセンブリをわずかに下に(iPhoneの上端から離して)スライドさせて、リア ケースに固定しているクリップを外します。



- 本のページをめくるように、ディスプレイの左側を持ち上げてiPhoneを開きます。
 小いくつかの壊れやすいリボンケーブルがまだiPhoneのロジックボードに接続しているので、ディスプレイを完全に外そうとしないでください。
- 作業がしやすいように、iPhoneを開口をしたままディスプレイの後ろに衝立を置き、立てかけてください。

手順16-バッテリーの接続を外します。



- 下側にあるディスプレイケーブルのブラケットをロジックボードに固定している4本のプラス ネジを取り外します。
 - 2本の1.3 mmネジ
 - 2本の2.8 mmネジ
- ✓ この修理ガイドでは、<u>ネジを安全に保管してください</u>。再組み立ての際は、全てのネジをオ リジナルの正しい位置に戻します。ネジを間違った場所に取り付けてしまうと、永続的なダ メージを与えてしまいます。
- ブラケットを取り外します。



- スパッジャーの先端を使って、基板上のソケットからバッテリーコネクターの接続を外します。
- バッテリコネクタケーブルを基板から少し離して曲げます。アクシデントでケーブルがソケットに接触していまい、iPhoneの電源が入らないようにするためです。

手順18-ディスプレイとデジタイザの接続を外します。



- スパッジャーの先端を使用して、ディスプレイ下側にあるコネクタをソケットから外します。
- このような<u>プレスコネクター</u>を再装着するには、片方の端がカチッと音がするまで押し、次に反対側も同様に押します。 中央部分は押さないでください。 コネクタの位置がちょっとで もずれていると、コネクタが曲がってしまい、永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

手順19



● スパッジャーの先端を使って、下から2番目のディスプレイケーブルの接続を外します。



- フロントパネルのセンサーアセンブリコネクターとブラケットを固定している3本の1.3 mm プラスねじを取り外します。
- ブラケットを取り出します。

手順 21



スパッジャーの先端を使って、フロントパネルのセンサーアセンブリのコネクターを外します。

手順22 — ディスプレイアセンブリを外します。



- ディスプレイアセンブリを取り外します。
- ▼ 再組立中に、ディスプレイ周辺に 付ける接着剤を交換する場合はこ こで停止してください。

手順 23 — Wi-Fiダイバーシティアンテナを外します。



- Taptic Engineの横にあるブラ ケットを固定している3本のネジ を外します。
- 1.3mm Y000ネジ1本
- 2.7mm プラスネジ1本
- 2.9mm プラスネジ1本



ブラケットを外します。



- アンテナのフレックスケーブルからスピーカー上部まで開口ピックを静かにスライドさせます。
 - (i) フレックスケーブルは所定の位置に軽く接着されています。もし必要であれば、iOpenerや ヘアドライヤーで軽く熱を加えて接着剤を柔らかくしてください。これにより、フレックス ケーブルを安全にかつ簡単に取り外すことができます。



 スパッジャーの尖ったほうの先端を使って、ロジックボードからダイバーシティアンテナの フレックスケーブルを持ち上げて外します。



- ソケットが持ち上がらないように固定するため、開口ピックをアンテナのフレックスケーブ ルの下にスライドさせます。
- ソケットが持ち上がらないように固定したまま、スパッジャーの尖った先端のほうを使って アンテナのフレックスケーブルを持ち上げて取り外します。
- このケーブルの再接続にはご注意ください。ピンセットを使ってフレックスケーブルを固定 すると、コネクタを正しい位置に合わせやすくなります。スパッジャーの平面側先端を使っ て、コネクタが所定の位置にカチっとはまるまでコネクタを真下に押します。



 Wi-Fi用ダイバーシティアンテナ を取り外します。

デバイスを再組み立てするには、iPhoneディスプレイ用接着剤の交換を実施し、この指示に逆の 順序で従ってください。

電子部品の廃棄物は、<u>R2またはe-Stewards認定リサイクラ</u>へお持ちください。

修理は予定どおりに行かなかったのですか? トラブルシュートの助けとして私たちの<u>iPhone 8</u> <u>Answersコミュニティ</u>をチェックしてみてください。